



# みよしかおるだより



## 1月19日(日)星田会館(三中校区)にて報告会を開催しました。

府政報告では主に万博関係の事業説明。合わせて、地域公共交通計画と天の川磐船線に関する交野市のし尿処理施設の広域化について、私の考えを述べました。参加者からはバス関係を中心に活発な意見交換が行われました。これからは市民の皆さんのご意見をお聞きする機会を作り行政に届け、よりよい住民サービスの実現を目指して参ります。



▲ゲストは、中司衆議院議員と岡田ともまさ交野市議会議員

### [意見交換会質問内容]

- 雨の翌日、星田駅前の駐車場がぬかるむ。整備してほしい。
- 地区の自衛消防のために消防ポンプを補助してくれている行政もある。大阪でもしてほしい。
- 新しいバスの住民説明会を行うように聞いている。市は住民に説明する前に市議に説明して、市議が課題を指摘し修正をした後、周知した方がいいのでは?
- 運賃は今より30円安い200円とのこと。バス事業の収益率は最大でも70%程度だと認識しているが、採算性と継続性の観点からバスの計画の説明を聞きたい。
- 市民は持続可能なバス運行を望んでいる。

### 第39回みよしかおる府政報告内容

- 大阪関西万博など大阪府政に関すること
- MY OPINION ①地域公共交通計画  
②し尿処理施設の広域化について
- 次回報告会のご案内  
(2月15日(土)14時～交野会館(二中校区))

①地域公共交通計画についてみよしの考え 2024年働き方改革による残業規制により、運輸業界の運転手不足は深刻。バス事業者の事業存続についてはバス事業者の判断で行政が制限するなどできないのは周知の事実。平成19年に制定された「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」において、基礎自治体に「努力義務」として規定されている地域公共交通計画(法定協議会を開催)は交野市では作成されなかった。近隣自治体と同様に計画を策定し路線維持継続へ向けてあらゆる対策を講じておくべきではなかったか。2019年頃から始まった、ゆうゆうバスの廃止議論の時から、地域公共交通及び外出支援については課題が噴出しており、2020年3月にゆうゆうバスが廃止となった後、不安に思う市民は多くいた。府議会一般質問での私の発言は、「(法定協議会が開催され)地域公共交通計画が作成されていれば(事業者と計画に伴う協議がなされ)一気に(4路線とも)廃止とならなかったのではないか」という可能性に言及したところ。「地域公共交通計画があれば、路線廃止がされなかった」などという断定的な発言はしていない。市議会での発言された方へ訂正を求めている。

### 第40回 府政報告会&意見交換会

2025年2月15日(土)14時～16時

場所：交野会館(二中校区)  
(交野市松塚14-25)

●堀天地交野市議の市政報告会と共催です!

### 第41回 府政報告会&府民交流会

「万博と大阪ヘルスケアパビリオンを知ろう!」

2025年3月15日(土)11時～18時

場所：フレンドタウン交野 フレンドスペース  
(交野市星田北2丁目26-1)

●府政報告会(14時～)&個別府民相談会も行います。

発行

みよしかおる事務所

〒576-0052 交野市私部2-11-30 プライムコートA

TEL 072-810-7220 FAX 072-810-7221

E-mail 344ishin2@gmail.com

ホームページ <https://miyoshi-kaoru.jp>

みよしかおる

